

## 肝癌：診療上の特徴

- 発癌の危険因子が明らか
- 効果的な複数の治療法。使い分けが可能
- 再発率が高い
- 再発に対しても効果的な治療が可能
- 定期的な観察と状況に応じた治療が重要

## 肝癌診療における当面の問題点

- 適切な観察を受けていなかったために治療困難な状態で発見される例がいまだにある。
- 古くから塞栓療法に広く使用されている油性造影剤や塞栓物質がいまだに禁忌の扱いになっている。

## 課題

- 肝癌に関する知識の普及
- 保険診療に関する矛盾の是正
- 発癌抑制法の開発
- 肝障害進行の防止